

★目次

1. MERIDIAN 2009 の活動

2. インターネットの影から子どもたちを守るための啓発活動(e-ネットキャラバン)について

1. MERIDIAN 2009 の活動

重要情報インフラ防護政策に携わる政府機関同士が、どのようにして協働することができるかについて議論をするための枠組みであり、2009年度の国際会合が10月28日から30日にワシントンDCで開催されました。

日本からは内閣官房情報セキュリティセンター等が参加し、日本政府の取り組み等について発表しました。

詳細は次をご参照ください。

<http://www.meridian2009.org/>

2. インターネットの影から子どもたちを守るための啓発活動(e-ネットキャラバン)について

はじめに

出会い系サイトによる誘拐や学校裏サイトでの誹謗中傷(ネットいじめ)など、近年、子どもがインターネットを通じてトラブルに巻き込まれる事例が数多く発生しています。

また、情報通信技術や携帯電話の機能が進化し、インターネットの高度な利用が可能になる一方、それを悪用する手口も巧妙になっており、本来、子どもを守るべき立場にある保護者や教職員、地域社会の方々の知識や対策が追い付いていない状況にあります。

そこで、総務省では、平成18年度から通信関係団体及び文部科学省と連携し、主に保護者や教職員を対象に、インターネットの安心・安全な利用に向けた啓発活動を行っています。それが、「e-ネットキャラバン」です。

e-ネットキャラバンについて

e-ネットキャラバンは、主に保護者や教職員向けの講座(e-ネット安心講座)を全国規模で行う活動で、平成18年度から実施しています。通信関係企業等の職員が自ら講師となって出向くなど、企業のCSR(*Corporate Social Responsibility*)活動として位置付けられており、無料の講座を全国各地で開催しています。

講座内容は、インターネットを通じたトラブルに関する情報やウイルス・迷惑メール・架空請求詐欺などの実態、また被害にあわないための対処方法などを、1~2時間で学ぶものとなっています。

保護者・教職員の皆様へ

e-ネットキャラバンは、「家庭においては親子、学校においては先生と子どもたちの新しい対話の

機会を作り、コミュニケーションの改善・回復に寄与すること」を基本コンセプトの一つにしています。教職員の研修会や PTA の会合、その他地域の勉強会等でインターネットの安心・安全利用について勉強する際に、是非ご活用いただきたいと思います。

通信関係企業にお勤めの皆様へ

e-ネットキャラバンの講師として活躍してみませんか。講師になるためには、講師認定講習会を受けていただく必要があります。詳しくは、以下の公式ウェブサイトをご覧ください、事務局まで問い合わせをお願いします。

おわりに

総務省では、e-ネットキャラバンを通じて、子どもが安心・安全にインターネットを利用できる環境をつくるよう取り組んで参りますが、是非 e-ネットキャラバンを受講していただき、受講を通じて習得した知識を子どもたちや周りの人たちにも伝えることが大切です。社会全体で、より良いインターネット環境をつくっていきましょう。

詳細は次をご参照ください。

公式ウェブサイト

<http://www.e-netcaravan.jp/>

担当:総務省 総合通信基盤局 データ通信課

<バックナンバー・配信先変更・配信中止>

本メールマガジンにおけるバックナンバーの取得及び配信先の変更、配信の中止等は下記の URL から可能です。

<http://www.nisc.go.jp/nisc-news/>

<御意見、御感想>

<http://www.nisc.go.jp/mail.html>